



2022年5月27日

各位

会社名 株式会社ダイセキ環境ソリューション  
代表者名 代表取締役社長 山本 浩也  
(コード番号 1712 東証プライム市場・名証プレミアム市場)  
問合せ先 執行役員企画管理本部長 珍道 直人  
(TEL 052 - 819 - 5310)  
当社の親会社 株式会社ダイセキ  
代表者名 代表取締役社長 山本 哲也  
(コード番号 9793 東証プライム市場・名証プレミアム市場)

### 支配株主等に関する事項について

#### 1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）又はその他の関係会社の商号等

(2022年2月28日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			親会社等が発行する株券が 上場されている証券取引所 等
		直接所有分	合算対象分	計	
株式会社ダイセキ	親会社	54.0	—	54.0	株式会社東京証券取引所 プライム市場 株式会社名古屋証券取引所 プレミアム市場

#### 2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置づけその他の上場会社と親会社等との関係

##### ①親会社等との取引関係や人的・資本的关系

当社は、親会社である株式会社ダイセキを中心とする企業グループ（以下「ダイセキグループ」という。）の一員であります。

ダイセキグループは、産業廃棄物処理と資源リサイクルを主たる事業とし、連結子会社6社（当社、株式会社グリーンアローズ中部、株式会社グリーンアローズ九州、北陸ダイセキ株式会社、株式会社ダイセキMCR及びシステム機工株式会社）で構成されております。

当社は、主として土壌汚染の分野で事業を展開しておりますが、ダイセキグループで土壌汚染調査及び浄化処理に関する事業を行っているのは当社のみであります。

##### ②親会社との企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社等との取引関係や人的・資本的关系などの面から受ける経営・事業活動への影響等

当社の事業活動において、ダイセキグループの総合力を多面的に活用できるメリットがあります。

なお、同社との関係においては、事業運営及び取引の自立性を保つことを基本とし、当社自らが経営責任をもって事業経営を行っております。

##### ③親会社等からの一定の独立性の確保の状況

ダイセキグループ各社の間で、事業基盤の棲み分けができており、また、株式会社ダイセキとの役員の兼任もなく、一定の独立性が確保されております。

### 3. 支配株主等との取引に関する事項

(自 2021 年 3 月 1 日 至 2022 年 2 月 28 日)

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円) (注) 3	科目	期末残高 (百万円)
親会社	株式会社 ダイセキ	愛知県 名古屋市	6,382	産業廃棄物 中間処理	(被所有) 直接 54.0	環境分析 の受託、産 業廃棄物 処理の受 託・委託 資金の借 入	環境分析・ 産業廃棄物 処理の受託 (注) 1	359	売掛金	19
							産業廃棄物 処理の委託 (注) 1	11	買掛金	1
							借入の返済 (注) 2	740	1年内返済予定 の長期借入金	680
							利息の支払 (注) 2	3	長期借入金	500

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 市場価格を勘案して交渉の上決定しております。  
 2. 市場金利を勘案して交渉の上決定しております。  
 3. 上記取引金額には、消費税等は含まれておりません。

### 4. 支配株主等との取引を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

株式会社ダイセキは当社の議決権の 54.0% (2022 年 2 月 28 日現在) を有する親会社です。

当社が親会社と重要な取引を行う場合には、当社の企業価値の向上の観点からその公正性および合理性を確保するために、取締役会において、独立社外取締役から、企業経営等に関わる経験と見識に基づき、客観的な視点に立った意見を適切に得た上で、当社の少数株主の利益を害することのないよう審議・検討し実行しております。

以 上